明日の天気は変えられない、でも市民の力で変えられる深谷の政治！

清水けんいち 市政リポート

政策討議資料
第21号
2012年10月

【ご挨拶】

皆様の、日頃からの、ご支援ご協力に心より感謝申し上げます。

市議会議員として、日々、市民皆様のため、市政発展のため活動しております。日頃の議員活動や市政状況を市民皆様にご報告して、開かれた政治を実現して参ります。これからもご意見やご要望を聞かせていただき「住みやすく・暮らしやすく・子育てしやすい街」深谷の実現に向け、活動して参りますので、変わらぬご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。

【議会報告】

深谷市議会　平成24年度　第３回定例会９月議会が終了しました。
主な議案
・平成23年度一般会計歳入歳出決算認定（認定）
・市税条例の一部改正する条例（可決）
・一般会計補正予算【第１号】（可決）
・調停の成立について【オーキッドファーム】（可決）
（他、市長提出議案21件・議員提出議案１件・請願１件）

23年度決算状況　（単位：円）

区　分	一般会計	特別会計	計
予算現額	54,192,110,740	19,477,312,827	73,669,423,567
収入済額	53,469,172,043	20,064,743,089	73,533,915,132
支出済額	50,253,233,228	18,421,036,249	68,674,269,477
差引残額	3,215,938,815	1,643,706,840	4,859,645,655
翌年度へ繰越すべき財源	251,090,760	58,609,726	309,700,486
実質収支額	2,964,848,055	1,585,097,114	4,549,945,169

※実質収支額とは、純剰余金で24年度に繰り越されました。

前年比較決算状況　（単位：円、％）

区分	収入済額 (A)	支出済額 (B)	差引残額 (A)－(B)＝(C)	翌年度へ繰越すべき財源 (D)	実質収支額 (C)－(D)
23年度	73,533,915,132	68,674,269,477	4,859,645,655	309,700,486	4,549,945,169
22年度	71,821,604,458	67,920,008,264	3,901,596,194	384,477,317	3,517,118,877
比較増減額	1,712,310,674	754,261,213	958,049,461	△74,776,831	1,032,826,292
増減率	2.4	1.1	24.6	△19.4	29.4

23年度 決算について

一般会計歳入、約535億円の内、市税などの自主財源比率は50.8％で残りの49.2％は地方交付税などの依存財源となっております。国の財政状況や東日本大震災からの復興財源を考えても、将来、地方交付税の減額が予想されますので、より一層、簡素で効率の良い市政運営を行わなければなりません。

清水の私見

市税条例の一部を改正する条例

この案件は、国の税制改正で、東日本大震災からの教訓を受け地方公共団体が実施する防災のための施策に必要な財源を確保するため、臨時特例として、個人市民税に500円を平成26年から10年間加算するというもので、市は、その財源を防災行政無線の整備に当てるという説明がありました。何か納得がいかないので調べましたが、もし深谷市がこの増税を行わないと交付税が減額される仕組みになっています。交付税が減額されれば市民皆様にとっても不利益となるので、やむを得ない、それなら、直接、市民に還元される耐震工事や家具の転倒防止など助成金に使えないかと質問したのですが、あくまで防災行政無線整備に当てるようです。

▲防災行政無線

※県民税も同様に500円の増税になります。

補正一覧表から抜粋　（単位：千円）

名　称	補正前予算額	補正額	補正後予算額	事業及び経費の概要
総合窓口設置事業	0	2,738	2,738	総合窓口業務の開設に係る経費
畠山重忠顕彰事業	5,000	1,175	6,175	・「鹿踊・剣舞」を実演する田野畑村の保存会員の受入経費 ・【財源更正】県の補助金が採択されたため。ふるさと創造資金（市町村提案・実施事業）
諸税賦課事務費	5,781	945	6,726	ふっかちゃんをデザインした原動機付自転車用のナンバープレート作成経費
生活保護費支給事業	2,413,079	114,820	2,527,899	平成23年度生活保護費等負担金（国庫・県）の返還分
農業施策推進事業	11,813	33,643	45,456	・人・農地プラン農地集積計画図作成経費 ・新規就農青年への給付金
深谷グリーンパーク管理運営事業	190,559	5,838	196,397	・パティオの金属屋根等改修工事における施工監理委託料 ・衛生センター建設に伴うパティオ排水管の切廻し工事設計委託料
中心市街地商業活性化推進事業	5,085	1,600	6,685	市民参加型地域資源情報発掘プロジェクト「フカペディア2012」の充実を図るため、TMOに補助金を交付するもの
道路維持管理事業	245,784	337,800	583,584	・舗装及び緊急修繕 ・側溝管渠清掃業務

24年度 補正予算（第１号）について

総合窓口設置事業に2,738千円の補正予算が盛り込まれました、これは６月議会に一般質問をしました「窓口のワンストップサービス」に関連するもので、市民窓口のレイアウトを変更します。また、フロアーマネージャーも２名配置してサービス向上に努めるとのことです。その他、大きいものは道路維持管理事業の約３億４千万円の補正ですが、各自治会から上げられた道路整備に関する要望に対応するため、当初予算の約２億５千万円を大きく上回る予算が計上されました。

《ここに注目パート》“オーキッドファームとの調停成立について”

６月の市政リポートでも取上げた案件ですが、市の施設（温室）を長年に亘り、借りていながら賃料を支払わず、その総額が違約金を含めると約１億１千万円となっている件で、市が裁判所に調停の申立てを行い、当初は全面的に争う姿勢であったオーキッドファームでしたが全額の支払いと本年11月末までに退去するという調停案でまとまるという事で議会が可決しました。

清水の私見

本当に払ってくれるのだろうか？

調査では、オーキッドファームと前市長との契約書では、個人保証や連帯保証人を付けていないため、オーキッドファームが解散したり破産宣告を受けますと、お金の回収ができません。ここは、支払期限を話合いで猶予する代わりに保証人を付ける事が出来なかったのだろうか？質問をしたのですが、オーキッドファーム側は払うと言っているので、という説明でした。

9月19日 清水健一の 一般質問と答弁（要約）

「恒産なくして、恒心なし」

孟子の言葉です。「ある程度の安定した暮らしが出来ないと、心が動揺しがちで、安定した状態を保つことが出来ず、世の中や人のために尽くす事ができない」ということです。郷土の偉人「渋澤 栄一翁」の、道徳経済合一説にも通じる教えです。本日は、この教えを胸に刻み、質問させていただきます。

おはようございます。議席番号15番
清水健一、質問通告に基づき市政一般に対する質問に入ります。
（質問内容の順序は異なります）

質問１ 地域コミュニティの活性化

地域経済を支えている経済主体の圧倒的多くは、中小企業であり、全国の事業所の99％は中小規模事業所です。そしてどの地域でも雇用の７・８割が、それらの事業所で支えられています。そして中小企業や農家の皆さんは、単に経済的な面や雇用の面で大きな比重を占めているだけではなく、地域における住民組織である、自治会、体育振興会、ＰＴＡ、あるいは消防団などの担い手の多くも占めています。また、地域のお祭りや伝統芸能の継承者も同様です。そうした方々が、長引く不況や、経済危機、社会的不安定化の状況下、市内で持続的発展していくためには、市内で経済が循環していく政策が必要であり、法律でも市の責務であると明記されています。私は産業振興条例の制定を求めますが、考えを聞かせて下さい。

答弁 条例制定に向けて早急に動いていきますが、制定が目的ではなく、農家や商店、中小企業のためになる、実効性の高いものになるよう、調査や話し合いから始めていきます。

再質問 最近、「早いうちに」という言葉を使われた方がいましたが、「早急に」とは、いつ頃を指すのですか？

再答弁 清水議員の、コミュニティの活性化には、経済の活性化が必要であるという趣旨は理解しております。「早急に」の時期について明言は出来ませんが、10月から着手します。

【質問のねらい】

いままでの自治体運営は、全国的に工業団地を整備し道路や上下水道などにお金を使い、更には補助金制度を用意して企業を誘致することが主要施策として行われてきましたが、リーマンショック以降、円高の影響もあり、それらの大企業が海外に移転したりするケースが増え、地域経済に大きな影響を与えている状況が増えてきました。企業誘致も大切ですが、市内再投資力（お金の循環）を高めていくべきと考えます。よく地産地消ということで農家の皆さんが作った野菜を学校給食に使われていますが、もっと力を入れ、例えば深谷日赤病院の給食や各企業給食にも利用してもらう事で経済が循環します。食に限らず出来るだけ、買い物を市内で行うという施策を実施するためにも産業振興条例が必要と考えての質問でした。

質問２ “いじめ”の把握と対応状況は？

文科省が行った調査では、昨年の「いじめ認知件数」は全国で約７万件、埼玉県では1,422件、５年間で６割減少したそうですが、一方では全国の小中高校生の自殺者は200人で前年より44人も増えています。全てが「いじめ」が原因ではないと思いますが、早期発見しての対応が有効と考えます。市の実態と対応について質問します。

答弁 各学校で、独自のアンケートなどを行ない把握に努めております。報告では、昨年の「いじめ認知件数」は、９件で全て解決しております。

再質問 各学校で独自のアンケートを行っているとのことですが、「いじめ」や「不登校対策」に有効なＱ－Ｕアンケートを行っている学校は何校ありますか？

再答弁 市内６校でＱ－Ｕアンケートを行っています。

再々質問 Ｑ－Ｕアンケートは、１回１人当たり300円掛かりますが、費用負担はどうなっていますか？

再々答弁 保護者やＰＴＡが負担しています・

再々再質問 「いじめ対策」や「不登校対策」に効果を発揮できるアンケートなら、費用負担を国や市で行うべきではないですか？

再々再答弁 予算が掛からないものもありますので、併せて、研究していきます。

質問３ 通学路の安全について

本年４月23日京都府亀岡市において、４月27日には千葉県と愛知県においても、登校中の児童などの列に車が突っ込み、死傷者が出る痛ましい事故が発生しました。この事故を受けて文部科学大臣から緊急メッセージが発せられ、全国の都道府県知事、市町村長、教育委員会、各警察本部は協力して通学路の安全点検を実施して、危険箇所への対応を含めて８月末までに報告する事になりました。市の通学路の危険箇所の把握方法と状況は？

答弁 昨年、県下一斉で大規模な通学路点検が行われましたので、今年度は通学路の変更箇所のみ点検を行いました。昨年度に把握した危険箇所は244件で昨年度に43件について整備いたしましたので、現在の未対応箇所は201件です。

再質問 危険箇所の把握方法は、歩行者目線、子どもの目線、そして運転者の目線で見ることが望ましいと言われていますので、是非、運転者目線でもチェックすることを望みます。県でも５ヵ年計画で整備するそうですが、今年度中に70％を前倒しで整備する事が発表されましたが、市では今年度、どの程度、整備をするのですか？

再答弁 子どもの安全確保のため、未整備箇所の53％を整備していきます。

【質問を終えて】

「いじめ」「不登校」の問題は、大きな社会問題になっています。子どもたちが１日の大半を過ごす学校は、子どもたちにとって大切な居場所です。深谷市では昨年、先生方や教育委員会のご努力で不登校児童生徒数が24人も減りましたが、新たに60人の不登校児童生徒が発生したのも事実です。これは家庭環境や児童生徒の無気力という原因もありますが、保育園・幼稚園・小学校・中学校が連携して取組めば、更に良い方向に向かうものと感じます。国立教育政策研究所でも、そうした取組みを奨励しております。「子ども未来部」を、昨年創設した深谷市で、是非、取組んでいただきたく質問しました。通学路に関しては、本年８月に、ある学校のＰＴＡ会長さんから通学路に関して相談を受け、要望書を提出しました。６月議会で他の議員が質問していたのに、おかしいな！と思い質問いたしました。

清水健一連絡先

〒369-1246 深谷市小前田2406-8
TEL 048-584-0717

FAX 048－584－0396
ホームページ：http://www.shimizu-kenichi.jp（ブログ公開中）
E－mail：info@shimizu-kenichi.jp

プロフィール
昭和36年1月27日生まれ（51才）
家族構成　父、妻、子供3人（6人家族）+愛犬ショコラ（男の子）
○　埼玉県立熊谷工業高校 卒業
○　社団法人深谷青年会議所 第35代理事長
○　深谷市PTA連合会 会長
○　深谷市立花園小学校 PTA会長
○　深谷市立花園中学校 PTA会長
○　埼玉県立深谷高校 PTA会長
◎　ふかや市商工会 理事
○　深谷市議会 副議長

このリポートは旧花園地域には折込により全戸配布しており、他の地域の皆様には年2回郵送させていただいております。郵送希望の方を紹介していただければ郵送させていただきますのでFAXやメールで是非、御紹介して下さい。